

空手道で一番苦しかったこと

西東京地区本部 浜田山支部

矢野宏明

型で何度も同じところを注意される、体力的にきつい、昇級や昇段を追い越されてしまうなど、苦しいことはたくさんありました。

一番苦しかったのは、それでも練習に参加するという気持ちを保つことだったと思います。本当は、投げ出してしまいたいという心に打ち勝てたのは、先生や周囲の方の励ましはもちろんのこと、一緒に空手を始めた子供たちの存在が大きかったと思います。子供たちに、簡単にあきらめてしまう姿は見せられないという一心で、ここまで空手を続けることができました。最初は、子供を鍛えるつもりで始めた空手でしたが、いつの間にか自分が鍛えられていました。親子空手の素晴らしい点だと思います。

実生活でも辛いことの多い昨今ですが、この気持ちを忘れずに進んでいくつもりです。